

レースよりウマイー！



2年連続2度目の開催となった平和島ポンコツ会イベント。今回は大庭元明のラーメン店「天竺」が出張。前夜はスナックで4時まで森進一を歌っていたそうだが朝8時から仕込みを開始。オープンの10時には20人ほどが列をなした。だが限定300食は、販売終了の15時前にまだ30食ほど残っている状況。すると西山が「オオバ師匠のレースよりウマイーラーメンいかがですか？」と営業開始。すると再び行列ができ、無事に完売に成功した。熱い応援販売を終えた西山は「ギャラより儲かっているもん」と言いながら「マジでウマイんですから」と絶賛。レースよりウマイーラーメン。一度、ご賞味あれ！

ポンコツ会の絆



その平和島ポンコツ会、出番の合間は控室でのんびりしていたメンバーだが、

部屋にGIのファンファーレが鳴り響くとみんな揃ってモニタールにきぎ付け。その視線の先は鳴門周年を走っていた齊藤仁。本来はこの舞台に一緒に立って

いてほしかった会員のひとり。道中逆転で先頭に立つと「仁さん、うめー」「齊藤仁じゃないみたい」と沸き立つ一同。その応援する姿を見ると本当に仲がいんだなと改めて実感した。

初デートの場所はどこ？



わいわいトーク夫婦SPに登場してくれた柳瀬幹太と山川波乙。話題が初デートの思い出になった時、まさかの事態が……。最初

は伊勢神宮だよね（柳瀬）、「ちやうわ、それ誰と行っているの？」（山川）と、まさかの食い違いが発生。夫婦ゲンカ勃発の危機が発生した。結局は「付き合う前にも行ったことがあった」ことが原因の勘違いで事なきを得たが、やはり思い出は大事にしないとね。みなさんも恋人、夫婦でそんな話になった時は気を付けてください！

底なしの胃袋



福山恵里奈と原村百那の表紙撮影は、場所を変えたり衣装を変えたり1日がか

りの口ケ。アフタヌーンティーを楽しむシーンでは「この後すぐ昼ご飯だよ」と伝えている

SGを獲っていれば…



今号で約3年間続けてきたコラムを卒業することになった荒尾聡。本誌リニユ

ールに伴う、定期的な改編によるものだが、当の本人は「僕の成績が悪いからですか！」と成績が原因と、思い込み。「僕がコラム執筆中にSGを1個でも獲っていれば長く続いたはずなのに」。いいえ、そんなことはございませぬ。荒尾の盟友・西山貴浩は、SG無冠だが9年



怒った事件があった。「整備をするなら水面に出て練習しろ」っていうのを

無視して、黙々と整備を続けていたの。ただ、何度注意をしても響かない様子の野田を見ていただけに、今回も期待薄に思っていたという。ところがその晩、宿舎で野田が涙をポロポロ流しながら「ごめんなさい」と大号泣の謝罪。その姿に「や」と反省してくれた。とホッとしたそう。ちなみに野田は怒られた時のことを「頭が真っ白でした。一生、口を聞いてくれないんじゃないかって思いました」と回想していた。

ダンサーレーサー



金子七海は学生時代、ガールズヒップホップというジャンルのダンスに取り組

んでいた。「KARRAや少女時代など、KPOPが流行っていた頃で、はじめは学校のみならず踊るのが楽しかったんですけど、そのうち本気で取り組みたいと思うようになって、中3の部活を引退したタイミングでスクールに通うようになりました。動画なんかで見様見真似でやっていたのは全然違います」と昔のことを思い出して

いた。最近は踊っていないそうだが、いつか開会式でその腕前を披露する日も来る!?

円周率100桁言えるかな



一芸に秀でた選手はたくさんいるが、その中で異色の特技を持つのが門田菜。

「円周率100桁言えますよ！いきますよ。3・14159265358979…（以下略）」と暗唱し始め、本当に言い切ってしまった。なぜこんな特技を身に着けたかという「高校入試の時に有利になるかなと思って覚えたんですよ。その後の使いどころはあんまりないんですけどね」と笑うが、そこにいた全員が感心していた。門田菜、実に面白い。

Macour Coverage Memo

追配取材メモ